

【報道関係者各位】

2022年8月1日
株式会社エーアイ

【8/25開催】音声合成エーアイ×電話放送局セミナー クラウドIVRで実現する コールセンターDXの始め方

高品質音声合成エンジンAITalk®を開発・提供する株式会社エーアイ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：廣飯 伸一、証券コード：4388、以下エーアイ）は、「クラウドIVR」をテーマとしたオンラインセミナーを2022年8月25日に開催することをお知らせいたします。

昨今、AI・音声合成・音声認識の品質向上やクラウドサービスの普及に伴い、クラウドIVRやボイスボットを導入する企業が増加し、コールセンターのDX化が急速に進んでいます。

本セミナーではIVR音声に始まり、現在ではボイスボットへの採用も進む、コールセンター導入実績の豊富な音声合成エーアイと、クラウド型IVRに特化したサービス提供をおこなう電話放送局様が、クラウドIVRについて導入メリットや、導入企業の成功事例、簡単導入・運営が可能なソリューションをご紹介します。



音声合成エーアイ×電話放送局セミナー

クラウドIVRで実現する
コールセンターDXの始め方

主催  エーアイ ゲスト講演  株式会社電話放送局
denwa housou kyoku

参加費無料

2022.8.25[木] 14:00-14:50 Zoomオンライン開催（要申込）

■セミナー開催概要

- ・開催日程：8/25（木）14:00～14:50
- ・開催形式：Zoomによるウェビナー（お申込み後に招待URLをお送りいたします）
- ・参加費用：無料（完全事前登録制となります）
- ・参加条件：ご法人のお客様限定（同業他社の方はお断りする場合がございます）
- ・定員：各講演30名様まで
- ・セミナーお申込みページ

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_fbwDetrFTQ6xIzX_5BK1hA

■セミナープログラム

●エーアイ講演

・講演テーマ

コールセンターソリューションで活躍するAITalkServer 製品特長と導入事例のご紹介

・講演概要

手軽にスタートでき、柔軟な運用も可能なクラウドIVRには、高品質かつ可変性のしやすい音声求められます。

IVR音声からボイスボットまで、長年多数のコールセンターシステムに導入される音声合成AITalkについて、企業に選ばれる理由や、クラウドIVRですぐ使えるツール・連携可能なサービスを詳しくご紹介します。

・エーアイ講演者

株式会社エーアイ マーケティンググループ 営業チーム 本間 健一

●ゲスト講演

・講演テーマ

コンタクトセンターのサービス価値を高める、簡単・シンプルなボイスボット・IVRの活用方法

・ゲスト講演者

株式会社電話放送局 営業部 大阪営業課 菅本 明德様
CC検定SV資格 情報セキュリティマネジメント取得

・講演内容

DX推進のなかでクラウドIVRの活用を選択される企業がとて増えています。

しかし、どの業務プロセスを対象とするのか、何を目的として導入するのが非常に重要です。

本ウェビナーでは、どこから始めるべきか・どのように業務プロセスを選定するのか事例をもとにご紹介いたします。

また、ユーザーのニーズに合わせて、自社の運用に合わせて変化に対応し、変革を続けていく企業をサポートする、新サービスについてもご紹介いたします。

■音声合成AITalk®とは

AITalk®は、コーパスベース音声合成方式を採用し、より人間らしく自然な音声で、自由に音声合成をすることができる音声合成エンジンです。

●3つの特徴

①豊富な話者と言語

日本語話者は大人から子供まで男女15種類、関西弁にも対応。外国語は40言語、59方言の豊富な音声ラインナップ。

②感情表現も実現

使用するシチュエーションやご用途に合わせた喜怒哀楽の感情表現を実現。

③誰の声でも合成データに

芸能人や声優、自分の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換。

※1：プランにより収録文章数が異なり、また個人によって読上げスピードや読み間違い等があるため、収録時間に差があります。

※2：一般的に収録文章数が多いほど音質は向上します。ご用途によって最適な収録数・音声辞書作成方法をご提案いたします。

■株式会社エーアイ 会社概要

ホームページURL：<https://www.ai-j.jp/>

本社：東京都文京区西片1-15-15 KDX春日ビル10階

設立：2003年4月

事業内容：音声合成エンジン及び音声合成に関連するソリューションの提供

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社エーアイ 担当：藤本

Email：pr@ai-j.jp

電話番号：03-6801-8402